

2025年度

ニチイキッズうえき保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月17日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子どもの人権を考え子ども主体の保育を行えるよう環境を整えたり、園内研修を行い意識を高めていけるようにした。
子どもの発達援助	発達や成長に個人差があり、個々にあった対応や援助が必要になってくる為、その都度全職員で情報共有するようにした。一人ひとりの日々の様子を伝え合いながら柔軟に対応できるようにした。
保護者に対する支援	毎日の連絡帳だけでなく、送迎の際に子どもの様子やその日の出来事等を丁寧に伝え、保護者と共に子どもの成長を喜ぶことができた。また、子育てに対する悩みや相談事を受けた時は、保護者の思いに共感し寄り添いながら対応するようした。その後全職員で、その保護者の思いを共有するようした。
保育を支える組織的基盤	それぞれの職員が子ども主体の保育を実践しようとするうちに、業務の優先順位が分からなくなる職員もいた為、職員会議等で保育の振り返りを行った。振り返りを行うことで、職員間でのコミュニケーションが増え業務の効率化につながった。

総評
子どもたちが今何を望んでいるのか、どんな事に興味があるかなどを考慮し子どもの表情や動きを観察しながら保育を行うことができた。発達段階の違いが大きく同じ遊びに飽きる子もいたので、限られた環境の中で出来ることを工夫し、安心して楽しく過ごせる場となるよう取り組んでいく。新たな課題として地域に根ざした保育施設となれるよう、行事等において近隣施設との交流や住民参加の機会を増やしていきたい。職員全員で積極的に課題に取り組み、丁寧な保育をこころがけていく。